

事業名	佐倉っ子塾 弥富剣道教室				
ジャンル	家庭教育 ・ 青少年教育 ・ 成人教育 ・ 団体育成				
日程	令和4年5月～令和5年2月	講師	立身流理事 櫻村典久	参加費	半期ごとに4,000円
対象者	主に小学生	参加者数 (延べ)	173人 (令和4年12月末現在)	募集方法	公民館だより・チラシ配布 佐倉市ホームページ 佐倉市生涯学習チャンネル
趣旨	弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の剣術と、剣道の稽古をとおして、児童の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに、郷土愛を育む。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道・立身流剣術の稽古（毎週土曜日午前中） ・剣道大会への参加 ・級位審査の受審 ・立身流抜初演武大会への参加 ・和田剣道教室との合同稽古 				
工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・参加条件の緩和を行い、参加者を広く募集した ・動画での広報を行う等、PR方法を工夫した 				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者も主体的に稽古を行っており、健全育成につながっている ・長期所属が期待できる低学年の参加者が増えた 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き参加者数の維持・増加を図る必要がある 				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館が行う必要があるか。 ・市民や利用者のニーズに合っているか。 ・目的や役割が薄れていないか。 ・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の優先度は高いか。
公平性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に情報は流れているか。 ・受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・期待通りの成果が得られているか。 ・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・市民の満足度は高いか。
効率性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性はどうか。 ・事業運営に学習者が参画しているか。 ・他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	<p>A：適切で成果が得られている。 B：課題あり、成果はある程度ある。</p> <p>C：課題あり、成果があまりない。 D：成果が得られていない。</p>
特記		

《凡例》 良い ← A B C D → 良くない	《判定例》 <table border="0"> <tr> <td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td> </tr> <tr> <td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td> </tr> <tr> <td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td> </tr> </table>	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	B	B
A	A	A	A	A	A	A	A	A																				
A	A	B	B	B	A	A	A	A																				
A	A	A	B	B	A	A	B	B																				

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------

☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

委員①		<ul style="list-style-type: none"> 結果として世代を越えた交流があることは素晴らしい。←参加条件緩和の効果（一層の緩和を） QRコードの活用（動画）は意義がある。より広い範囲に広報する方法の工夫をして欲しい。 他の企画との連携に工夫の余地はないか。
総合評価	B	

→引き続き参加者増加への取り組みを。

委員②		<p>地域の無形文化財の継承というのは、大きな価値がある。それに加えて、中学校も部活動が地域に移行する流れになっており、社会教育とのつながりが必須となっている。現時点で、中学校に剣道部がない学校が多いが、今後の流れを考えると、この活動を通して、継続して剣道に関わりたいと考える小学生も増えるのではないかと。和田地区との合同稽古も行っているのも興味深い。参加者を維持する手立てを工夫し、来年度もぜひ継続をお願いしたい。</p>
総合評価	A	

委員③		<p>剣道を通じての人格形成に役立っている。参加者の減少を挽回すべく、情報発信が必要である。低学年層の増加につながる。アイデアを期待したい。藩のお家流を学べるのは、利点である。</p>
総合評価	A	

委員④		<p>歴史ある立身流や剣道を通じて子ども達はその技や伝統を受け継いでいく良い事業だと思います。級位がとれることのアピールは参加者増加につながらないでしょうか。</p>
総合評価	A	

委員⑤		<p>無形文化財として、さらにアピールしても良いと思いました。</p>
総合評価	A	

委員⑥		<p>立身流は県の無形文化財なので、多くの方に知って頂きたいです。又、地域と連携し、成果が得られることを切に希望します。</p>
総合評価	A	

委員⑦		<p>和田公民館の剣道教室と同様に伝統的的事业でありながら、参加者の確保に苦勞する様子が窺われます。全国的にみても競技人口が減少傾向にある中、何とか継続している状況には頭が下がります。剣道には勝負が付きものですから、大会に出ていい成績をあげることに子どもたちが全力を傾けるのは普通のことでしょう。一方で評価する側からみると、いい成績を納めることだけが目的ではなく、それは一所懸命に稽古して学んだ先にあるご褒美のようなもので、楽しく休まずに教室に通う子が増えてくれる方が価値あることのように思います。何かいい手はないのでしょうか。立身流の継承とあわせ、弥富公民館の果たす役割は少なからぬものがあるように思えます。和田剣道教室との合同稽古も継続して欲しいですね。</p>
総合評価	A	

委員⑧		<p>○弥富公民館の子どもに目を向けた事業の剣道教室は、とても息の長い取り組みで、かつて弥富小の児童は4年生になると剣道をやるものだと思っていたくらいです。今は県の無形文化財と指定された佐倉藩独自の剣道を、弥富地区に在住の師範がこれを伝承していこうとされたものですが、これからも継承していくことはとても意義深いことです。</p> <p>○これに参加する人数が課題となっていますが、少子化傾向が進む中では、年少児からスタートすることもおいにありでしょう。</p> <p>●卒業生や地域在住の大人も参加できる枠を作ってみてはいかがでしょうか。参加はできるとしながらも申し込みがあまりないようですから、指導者や場所の課題もふまえて、活動時間等検討の余地はあるかと思っています。</p>
総合評価	A	

委員⑨		<p>参加者を確保するため、参加条件の緩和や動画を利用した広報など工夫をされていることは大いに評価したいと思います。弥富地区に伝わる立身流の武術は伝統あるものであり、今後とも後世に伝えていただきたいと思っています。</p>
総合評価	A	

委員⑩		剣道・立見流の剣道教室は、青少年の健全育成を図る事業で、剣道大会への参加、「立見流」剣術の稽古や演舞会への参加などで、小学生の心身を鍛える手助けとなっている。少子化などの影響か参加者が減少してきているのが残念ですが、参加条件の緩和で市内だけでなく市外にも広報活動をされている様子。また、動画での広報などで参加者の増加を期待したい。青少年教育の一環として、剣道教室は継続事業として続けていただきたい。
総合評価	A	

※社会教育法第20条を根拠として評価

委員⑪		〔事業区分〕学術及び文化に関する事業 〔目的〕健康の増進 剣道の稽古を通して児童の心身の鍛錬、健全育成として剣を振りかぶって元気に稽古をしていた。又、指導者はボランティアということで継続されていることに敬意を表します。 しかし、訪ねたときは、一般にいう剣道教室に思われた。 (改善点) 公民館事業としては、立身流に特化して、流の継承、健康の増進を図る等、年齢・性別にかかわらず、受け入れて、参加者の増加をめざしてほしい。
総合評価	B 公民館20条の中で、目的とするものか、判然としない	

委員⑫		剣道のみではなく、地域に伝わる武術である剣術を子どもたちに伝える素晴らしい事業であり、そこから生まれる効果は、大きく子どもたちの未来へつながるものであると思う。大会への参加も経験できる等、内容も非常に充実している。さらに多くの子どもたちが参加できることを期待する。
総合評価	A	

委員⑬		千葉県指定無形文化財「立身流」を地域だけの剣道とするのはもったいないです。佐倉市内にPR強化する方法を検討、存続していただきたい。
総合評価	B	

委員⑭		佐倉 弥富地区における立身流の剣術稽古を通して、心身の鍛錬、育成、他者との交流そして郷土愛を育む為に参加条件の緩和と拡大等、工夫し、活動の継続を是非お願いしたいです。
総合評価	B	

委員⑮		○立身流宗家もあり剣道教室による心身鍛錬の場は、少人数ですが評価いたします。 ○少人数特認校の弥富小学校の生徒に対して弥富で剣道としてすすめて下さい。 ○勾玉づくり、たこ作りなど、弥富塾は豊かな心を育むでしょう。
総合評価	A	